

羽曳野市学校図書館ニュース 第22号

平成30年12月発行：羽曳野市学校図書館司書会

第8回羽曳野市図書館を使った調べる学習コンクール 受賞結果

『私の防災』

古市小学校 5年 平井瑞姫さん

調べるきっかけとなった大阪での地震



《目次》 総ページ数 P49

- ① はじめに（調べるきっかけ）
- ② 主な災害
～どうして起こるのだろう～
- ③ どうやってひなんしたらいいの？（ひなん所の見学）
- ④ 市役所へ
- ⑤ 私が住んでいる地域の起こりやすい災害
- ⑥ もし災害が起こったら…
- ⑦ 私の家でしている防災対策
- ⑧ 被災地に行ってみて
- ⑨ まとめ

受賞理由

「もし、災害が起ったら・・・わたしはどのように行動すればいいのか？」と3日間の避難生活体験をレポート。その時に使ったもの、食べたものなど貴重な情報になっています。

教育委員会賞

詳しい受賞理由は羽曳野市ホームページに掲載されています

羽曳野市ホームページ ⇒ 子育て・教育 ⇒ 学校教育 ⇒ 図書館教育について ⇒ 第8回羽曳野市図書館を使った調べる学習コンクールについて ⇒ 審査結果および講評

今年も「なぜだろう」「～について調べたいな」という気持ちを大切にしたい意欲的な作品がたくさんありました。図書館資料を活用し、自ら見学・実験・観察等を通して得た新しい発見を、喜びや驚きなどの感情とともに自分の言葉で表現してください。

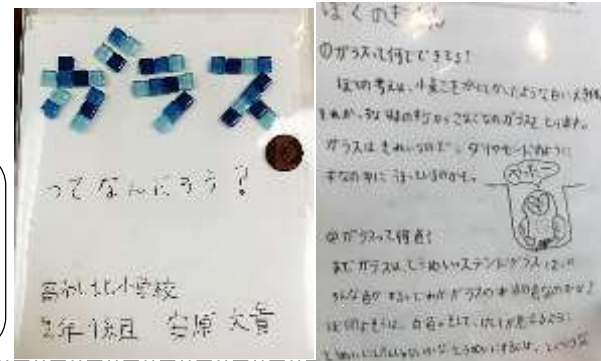


『ガラスって なんだろう？』

高鷲北小学校 2年 安原大貴さん **優秀賞**

受賞理由

吹きガラス体験で風鈴をつくることで、新たな発見・出会いがあったようで、この作品を読んでいるものにも、その感動が伝わってきました。



『ハチはすごいぞ！ ～ハチのくらしをしらべてわかったこと～』

白鳥小学校 2年 和泉智子さん **優秀賞**

受賞理由

危険なハチがいる一方で、おいしい蜂蜜を我々に与えてくれるミツバチもあり、末尾に「ありがとう」と書かれている気持ちが素敵だと感じます。

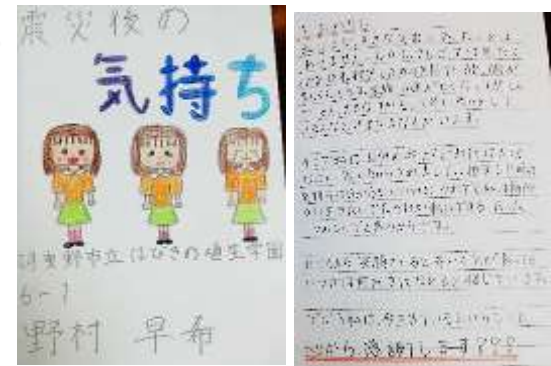


『震災後の気持ち』

はびきの埴生学園 6年 野村早希さん **優秀賞**

受賞理由

「陸上自衛隊」の方々のことや被災地でのストレスについてまとめていくと、『笑顔の大切さ』に気がついたというまとめは、大切なことを教えてくれてい



『音の世界へようこそ おじいちゃんのラジオをきっかけに…』

羽曳が丘小学校 6年 藤田真結さん **優秀賞**

受賞理由

ラジオから、音、そしてそれを聞く耳について調べてあり、本人の「興味の愛容・道筋」がよくわかる内容になっています。

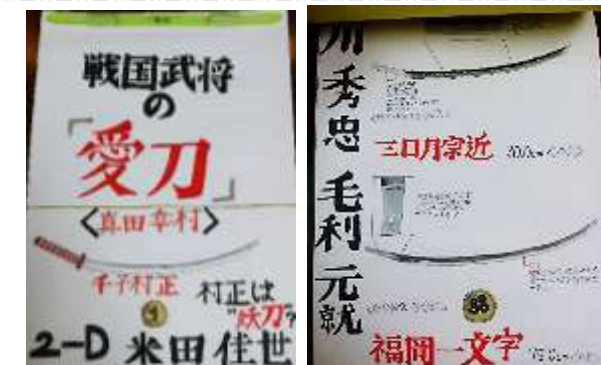


『戦国武将の「愛刀」』

高鷲中学校 2年 米田佳世さん **優秀賞**

受賞理由

「名将に名刀あり」夏休みの多くの時間を使って、たくさんの戦国武将の愛刀について調べあげた見ごたえのある作品になっています。



調べ学習における学校の取組み

夏休みに全員参加の校内研修を実施

埴生南小学校

研修テーマ『主体的な深い学びを目指す探究的学習』

- ★「調べ学習とは何か」ということを司書教諭が講義。
- ★DVD『学びを支え 心をはぐくむ学校図書館』
(島根県教育委員会/2010)を一部視聴。
- ★学年に分かれて実際に資料を手に取りながら、
2学期以降の調べ学習の計画を立案。



☆研修を受けての先生方の感想☆

- マッピングや要約など、ビデオで分かりやすく説明してくれたので、すんなり頭に入りました。マッピングは高学年などある程度大きくなると難しいイメージでしたが、今日の研修を聞いて、低学年でも取り組めるなと思いました。
- 「じどうしゃくらべ」に使える新しい本や、学習に利用できる本が多くあり、嬉しいです。ただ、「つくり」「しごと」がそのまま記載されており、そのまま書き抜くだけの本もあり、使いどころが難しい…と感じました。1年生につけたい力を改めて確認できたので、とても勉強になりました。特に要点、要約、要旨は整理できてよかったです。

祝☆学校賞受賞

西浦東小学校

今年度、学校賞を受賞した西浦東小学校は、全学年が、普通の授業での取組みを作品としてまとめ、応募しています。

《取組み内容》

1年	学年綴じ	国語	とりのくちばししらべ
2年	学年綴じ	国語	どうぶつのひみつ
3年	学年綴じ	国語	気になる記号
4年	1人1作品	国語	すがたをかえる食べもの (3年生2学期に取り組んだ作品)
5年	学年綴じ	社会	お米新聞
6年	学年綴じ	総合	古市・百舌鳥古墳群を世界遺産に(グループでパンフレットを作成)

学年綴じとは
学年で取り組んだ
複数の作品を
まとめて綴じたもの



- ◎前年度に取り組んだ作品に応募することができます。
- ◎グループで取り組んだものも一つの作品として応募できます。

先生のおすすめ本コーナー

『にんげんだもの』

作：相田 みつを
出版：文化出版局



詩集なので、たいへん読みやすい本です。短い詩ですが、その内容はとても深く、人間の思いや感情、もっと言えば、人生そのものが詰まっている詩がたくさんあり、感動しました。

また、筆で書かれているので、温かさが伝わってきます。

(はびきの埴生学園・南校長先生)

『がむしゃら 1500キロ』

作：浮谷 東次郎
出版：新潮文庫

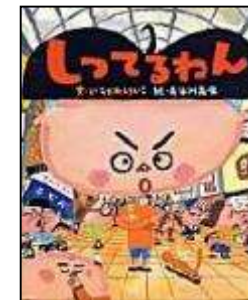


炎天下に15歳の少年が50ccバイクに乗って、たった一人で千葉～大阪往復1500キロの旅に出た。その道中の苦労や人との出会い、様々な体験を重ねていく軌跡。自分の能力に対する限りない挑戦の記録です。多くの勇気をもらいました。

(はびきの埴生学園・坂井副校長先生)

『しってるねん』

文：いちかわ けいこ
絵：長谷川 義史
出版：アリス館



あれ？あのおばちゃん、だれやった？まえにあったこと、あんなあ。自分のお店もある商店街であいさつをした人がどこのだれだったのか…。考えても考えてもおもい出せない。読み終えた後に毎回クイズを出して楽しんでいます。みんな笑顔になること間違いなしです。

(埴生南小・藤田先生)

『オニじゃないよ おにぎりだよ』

著：シゲタサヤカ
出版：えほんの杜



節分の前に子どもたちにいつも読み聞かせをしています。オニって怖いイメージがあるけれど、この絵本のオニはとてもかわいいんです。ある日、人間が落としかさったおにぎりを食べたオニは、「人間はこんなおいしくないおにぎりを食べてかわいそう」と人間のためにおにぎりを作って山をおりていきます。オニが作ったおにぎりは人間に食べてもらえるのでしょうか。

(高鷲小・松田先生)